

別紙（事後評価書）

令和2年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

通し 番号	3	事業区分： 劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業
		助成対象団体名： 公益財団法人神奈川芸術文化財団 施設名： 神奈川県立県民ホール（本館・KAAT 神奈川芸術劇場）
<p>助成対象活動に関する評価</p> <p>（妥当性）</p> <p>当該劇場は、神奈川県が策定した「かながわ文化芸術振興計画」を踏まえて企画されているものの、平成30年度の要望時より、ミッションの明確な記載がなく、ミッションの再構築が不明確であることがわかった。</p> <p>一方、当該劇場の事業が実現を目指す5つのアウトカムが掲げられ、それを実現するために5つのプロジェクトと8つの目標が連関されているが、ミッションが不明確な上、5つのアウトカムの設定は、アウトカムの発現のためのアウトカムの設定になっており、ミッションの達成状況は現状のままでは判定できない。</p> <p>以上のことから、ミッションが不明確なまま事業が推進されており、事業計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通りに事業が推進されたことが認められない。</p> <p>（有効性）</p> <p>アウトカムの発現については、成果報告書に記載されているが、（妥当性）で述べたとおり、ミッションが不明確なため、アウトカムの発現の判定は難しい。</p> <p>※以下、事後評価期間中に実施された事業内容を列挙する。</p> <p>【平成30年度、31年度】（最終年度評価期間に実施）</p> <p>「観客創造プロジェクト」では、県民ホール制作オペラ「ヘンゼルとグレーテル」をピアノ版として足柄など県西部の劇場で再演し、優れた文化芸術に触れる機会の地域差を解消するための取組がなされた。また、「オープンシアター」で年齢や国籍の違い、障害の有無に関係なく、舞台を楽しみ交流できるサポート体制に取り組んだ他、視覚障害者との協働による音声ガイド制作を通じて、障害そのものへの理解を深めることに成功した。文化芸術の体験拡大と多様性ある社会の実現に向けた取組が実施された。</p> <p>「同時代の芸術創造プロジェクト」では、芸術監督や若手・中堅の演出家の舞台作品を中心に、他ジャンルのクリエイターとの協働で新しい芸術表現に取り組んだ。両劇場で10作品以上の創作初演や新演出を実施した他、県内外のツアー公演は19自治体（いずれも平成30年度）に及び、優れた芸術作品に与えられる賞を複数受賞し高い評価を受けた。実演芸術水準の向上に資する活動が展開された。</p> <p>制作者・技術者の国際的なネットワーク構築への貢献を果たす「国際舞台芸術ミーティング」では、参加国数や海外からの参加者数の目標は達成したものの、KAATにとっての具体的な成果をより明確にする必要があり課題が残った。一方で、横浜市と連携した「KAATダンスシリーズ2018」では、国際的に評価の高い海外カンパニーを招へいし、松葉杖のダンサーによる舞踊作品を上演するなど、多様性ある社会の実現に向けて、貴重な鑑賞機会を提供した。国際文化交流の推進に資する活動が実施された。</p> <p>「専門人材養成プロジェクト」では、他劇場からの職員研修受入数が目標を達成できなかったが、研修期間の設定の検討など善後策が示された。アンダースタディ、大学授業との連携、劇場インターンなど多様な形での人材育成も確認できた。また、「地域文化振興調査プロジェクト」では、外部有識者を招いた劇場評価に関する研究会を実施し、設置者</p>		

と情報共有を図るなど、実演芸術振興の基盤強化に向けた取組が実施された。

【令和2年度】

新型コロナウイルスの影響で、一部事業はオンライン配信に切り替え実施された。「観客創造プロジェクト」では『「情報保障を取り込んだ作品制作」の可能性を探るワークショップ』が目標値 250 人に対して実績値 547 人、『SHIRAI' s CAFÉ』が目標値 300 人～450 人に対し実績値 2,010 人、「同時代の芸術創造プロジェクト」では『未練の幽霊と怪物』が目標値 4,000 人に対し実績値 4,800 人と、オンライン配信に切り替えた事業が目標値を上回った。また、同『一柳慧総監督就任 20 周年記念プロジェクト 東京フィルハーモニー交響楽団演奏会』は県民ホールの客席数を半分に制限して開催したが、現代音楽のコンサートにも関わらず 1 階席では目視で 50%程度（実績値では全体で 460 人）の集客が見られた。

アウトカム発現のため 8 つの目標を掲げたが、達成できた目標は 2 つのみにとどまった。目標の 1 つである「寄附を通じた支援の拡大」については、感染症拡大の影響により中止となった公演のチケットの払い戻し分を寄附するという制度を導入し、41 件の寄附があった。

（効率性）

事業期間は概ね適切であったと認められたものの、一部の事業において、要望時の事業期間と実績との間で乖離があった。事業期間について、実効性のある事業計画の立案と適切な事業実施に努めてほしい。

また、事業費は概ね適切であったと認められたものの、一部の事業において、要望時の予算額と報告時の実績額との間で乖離があった。実効性のある予算積算と適切な予算管理に努めてほしい。

（創造性）

当該財団の芸術総監督である一柳慧は、芸術監督プロジェクト「Memory of Zero」で楽曲を提供した他、プロデュースしたフラックス弦楽四重奏団の公演では、自作や招待作曲家の演奏のほか、国内外の若手作曲家から作品を公募してワークインプログレスによる初演を企画した。現代音楽の第一人者ならではのプログラム構成は独創性に優れていた。

KAAT 芸術監督の白井晃は、演出、出演、プロデュースと複数の立場でプロジェクトに参加し、現代日本演劇を牽引する若手・中堅劇団やさまざまな分野のクリエイターとの協働にあたって求心力を発揮した。自身が演出した「華氏 451 度」をはじめ、KAAT 発のジャンル横断的な新たな舞台表現の創造を通じて、独創性と新規性に優れた劇場活動を推進した。劇場のプロデュースや共同制作による公演では、「山山」が岸田國士戯曲賞を受賞したほか、「オイディプス REXXX」は第 26 回読売演劇大賞 優秀スタッフ賞を受賞し、劇場の対外的な評価向上にも大きく貢献している。

また、KAAT 館長と技術監督の堀内真人は、国内外の劇場での豊富な経験を活かし、KAAT の最先端の舞台機構を駆使して作品の創造性を技術面から支えるとともに、他劇場とのネットワークにおいては先導的な役割を果たしている。

令和 2 年度の KAAT で開催された「同時代の芸術創造プロジェクト 谷賢一演出『人類史』」は、脚本の練り込み不足が多く、歴史思想書の上演台本化に成功しておらず企画倒れに終わった。前半は、身体表現が約 7 割を占め、人類誕生の経緯をたどったがストーリー

別紙（事後評価書）

一性がなく集中力が削がれ、イスラエル出身の振付家は、旧態依然の振付で当て振りの域を出なかった。後半は平凡なモチーフを用いた台詞劇の演出にとどまった。コンピューターグラフィックで巧みに表現した映像は効果的で、他ジャンルのクリエイターとの協働によるスタッフワークは優れていたものの、エピソードの選択、物語の組立て、人物造形などで多くの課題を残した。

「KAAT×地点 松原俊太郎新作『君の庭』」では、劇場版及びオンライン版2種類が相互補完的な役割を持つ作品を制作し企画推進の工夫が認められた。

独創性には優れていたものの、新規性及び先導性については特徴的な事業は認められなかった。

本館で開催された「一柳慧芸術総監督就任20周年記念プロジェクト 東京フィルハーモニー交響楽団演奏会『共鳴空間（レゾナントスペース）』」は、鈴木優人指揮、東京フィルハーモニー交響楽団、ヴァイオリンの成田達輝が出演し一柳の創造活動のエポックとなった管弦楽作品を取り上げた。本公演は、現代音楽のみならず音楽表現の根源を問い直し、未来を見据え新たな芸術表現を創造し続ける一柳慧の音楽作品と、実力を兼ね揃えた出演者陣の演奏により、独創性と先導性の高い公演として認められた。

令和2年6月に映像作品としてオンライン上演した「岡田利規演出作品『未練の幽霊と怪物』」が収められた戯曲集「未練の幽霊と怪物」が第72回読売文学賞 戯曲・シナリオ賞を受賞した。

評価が二分された公演もあったが、国内での受賞を獲得した公演もあり、一定程度の成果は認められた。

（持続性）

組織面では、館長、芸術監督、プロデューサー、技術監督をはじめ、各部門の優秀な人材の確保を図っている。また、3年以上の契約職員の無期雇用への転換を図っており、安定的な事業計画の実現に向けて推進していると認められる。労務環境に関しても、「働き方改革」関連法の実施に伴い、長時間労働につながる事業量全体に見直しがあり、人員補充を行うなど対策が講じられ、持続的な活動に向けた体制づくりがなされた。

財政面では、KAATはミュージカルに、本館はポップス系のコンサートに長期的な貸出を行い施設利用料の安定的な収入確保に努めている。指定管理料も三か年の推移では安定している。複数の助成金の獲得のほか、賛助会員組織やインターネットを通じた小口寄附の仕組みも整備しており、財源の多様化に取り組んでいる。

ネットワークの面では、公演ツアーだけでなく、指導的な役割を担う県公立文化施設協議会、劇場・音楽堂等連絡協議会、公共劇場舞台技術者連絡会などを通じて連携の強化に努めている。

また、令和3年度よりKAAT芸術監督に就任予定の長塚圭史が、平成31年4月から参与となった。長塚は「常陸坊海尊」をはじめとしてKAATで数多く作品を発表しており、白井との引き継ぎ期間も十分に確保され、劇場プログラムの継続性が期待できる。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、ツアー公演が3自治体のみとなった。また、財源の多様化についても、賛助会員が法人51社から40社、個人が15人から12人に減少した。

一方で、中止になった公演チケットの払い戻し分の寄附制度を新設したところ、41件の寄附があった。苦戦を強いられるも地道に財源の確保に努めたことは一定程度評価でき

る。

雇用及び人事戦略については、施設管理や事業制作に固定しがちであった職員をジョブローテーションさせ、業務の平準化とノウハウを共有し、業務改善に努めた。また、新たに各館の施設担当で構成される「施設運営調整会議」を立ち上げ、劇場の課題事案について横断的な協議の場を設置した。

以上のことから、事業計画を通じて組織活動が持続的に発展することは期待できるが、ミッションが不明確なため、持続的なアウトカムの発現については判定できない。

（総 評）

神奈川県民ホール（本館・KAAT 神奈川芸術劇場）は、KAATにおいて劇場の強みである芸術監督の高い芸術性とネットワークを活かして、若手・中堅の実演芸術団体や他分野のクリエイターと協働し、新たな舞台芸術作品の創造に取り組むとともに、館長や技術監督の高い専門性を活かし、技術面で作品創造の質を支えるにあたって全国及び県内で指導的な役割を果たし、我が国の実演芸術の水準の向上に貢献した。

また、本館においてオペラ作品のピアノ版を県内の地域劇場で再演することで、鑑賞機会の地域差解消に取り組み、地域コミュニティ活性化に貢献したほか、「全ての人に開かれた劇場」をコンセプトにした「オープンシアター」で、年齢や国籍の違い、障害の有無に関係なく、舞台を楽しみ交流できるサポート体制に取り組み、多様性が育む共生社会の実現に向けた事業で社会的な課題解決に貢献した。

以上のことから、異なるタイプの2つの劇場を活用し、創造的な公立劇場として戦略的な事業展開が実施されたと概ね認められる。

なお、県立施設として、普及啓発や人材養成にも努めているが、横浜市での事業が多く、政令指定都市以外での自治体との連携やネットワークが不足している。今後、2つの劇場で蓄積された専門性やノウハウを経営資源が不足する中小規模館へ技術提供することにより、県内の文化芸術活動の底上げと活性化が図れるよう期待するとともに、県立施設の役割の一つである広域性を生かした劇場経営のさらなる創意工夫を求める。

別紙（事後評価書）

【新型コロナや台風等の影響を受けたもの】

H31

- 事業番号 2「 I 観客創造プロジェクト①オルガン・プロムナードコンサート ②オルガン3館連携事業」(一部中止)
- 事業番号 6「 I 観客創造プロジェクト松山バレエ団『新・白鳥の湖』」(公演中止)
- 事業番号 10「 I 観客創造プロジェクト 舞台芸術講座 ①オペラ講座(巡回)②オペラ講座 ③オルガン講座 ④チェンバロ講座」(一部中止)
- 事業番号 23「 IV 専門人材養成プロジェクト インターン 公演制作(音楽、演劇)、舞台技術」(一部中止)

R2

- 事業番号1「 I 観客創造プロジェクト音楽劇「銀河鉄道の夜 2020」」(席数制限)
- 事業番号2「 I 観客創造プロジェクト県民ホール・オペラ・シリーズ(地域巡回公演) オペラ「ヘンゼルとグレーテル」」(公演中止)
- 事業番号3「 I 観客創造プロジェクト「情報保障を取り込んだ作品制作」の可能性を探るワークショップ」(オンライン配信)
- 事業番号4「 I 観客創造プロジェクト KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督トーク「SHIRAI's CAFÉ」」(オンライン配信)
- 事業番号5「 I 観客創造プロジェクト森山開次振付作品「星の王子さま -サン・デグジュベリからの手紙」」(席数制限)
- 事業番号6「 I 観客創造プロジェクト舞踊シリーズ 横浜バレエ・フェスティバル 2020」(公演中止)
- 事業番号7「 I 観客創造プロジェクト ファンタスティック・ガラコンサート 2020」(席数制限)
- 事業番号8「 I 観客創造プロジェクト①「パイプオルガン・プロジェクト オルガン・プロムナードコンサート」②「オルガン3 館連携事業」」(②公演中止)
- 事業番号9「 I 観客創造プロジェクト パイプオルガン・プロジェクト オルガン・リサイタルシリーズ&クリスマスコンサート」(①公演中止)
- 事業番号10「 I 観客創造プロジェクト オープンシアター2020 ①オーケストラ・コンサート ②ワンコイン・コンサート」(公演中止)
- 事業番号11「 I 観客創造プロジェクト KAAT キッズ・プログラム 2020『さいごの1つ前』」(公演中止)
- 事業番号12「 I 観客創造プロジェクト舞台芸術講座 ①オルガン講座／②オペラ講座／③チェンバロ講座」(①中止)
- 事業番号13「 I 観客創造プロジェクト舞台芸術講座 ①オルガン講座／②オペラ講座／③チェンバロ講座」(席数制限)
- 事業番号14「 II 同時代の芸術創造プロジェクト舞踊シリーズ 東京バレエ団「M」」(席数制限)
- 事業番号15「 II 同時代の芸術創造プロジェクト 岡田利規演出作品「未練の幽霊と怪物」」(オンライン配信)
- 事業番号16「 II 同時代の芸術創造プロジェクト KAAT×地点 松原俊太郎新作「君の庭」」(席数制限・オンライン配信)
- 事業番号17「 II 同時代の芸術創造プロジェクト 谷賢一演出 「人類史」」(回数変更)
- 事業番号18「 II 同時代の芸術創造プロジェクト小野寺修二「Knife」」(日程変更)
- 事業番号19「 III 国際文化交流プロジェクト国際舞台芸術ミーティング in 横浜(TPAM in Yokohama)」(オンライン使用)
- 事業番号20「 IV 専門人材養成プロジェクト 舞台技術講座」(オンライン配信)
- 事業番号21「 IV 専門人材養成プロジェクト (1)新しい才能の発掘育成プロジェクト プロフェッショナルアーティスト養成事業」(一部中止)

別紙（事後評価書）

事業番号22「IV 専門人材養成プロジェクト 劇場人材能力開発プロジェクト 劇場運営マネジメントプロフェッショナル人材養成講座」(内容変更・回数減)

事業番号23「IV 専門人材養成プロジェクトインターン 公演制作(音楽、演劇)、舞台技術」(一部中止)

事業番号25「IV 専門人材養成プロジェクト 2020年度 KAAT×YNU 横浜国立大学 連携講座「芝居の大学」」(オンライン開催)

事業番号27「IV 専門人材養成プロジェクト 劇場間人材交流事業」(事業中止)

事業番号28「V 地域文化振興調査研究プロジェクト 神奈川県立文化施設(県民ホール、KAAT)活性化計画プログラム(行動案作成)」(一部調査中止)